

■平成 28 年度版 サンシャイン第 3 学年 年間指導計画（例） —評価規準作成資料付き—

★①②③=各課の中のセクション番号

★PU=POWER-UP / L=Listening / S=Speaking / W=Writing

★MP=My Project (スピーキング活動)

★PT=パフォーマンステスト

★関=コミュニケーションへの関心・意欲・態度 / 表=外国語表現の能力 / 理=外国語理解の能力 / 知=言語や文化についての知識・理解

この資料は、生徒の学びの保障を目的に、教科書の内容から「学校の授業で扱う必要がある教材・学習活動」と「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とに区別して、学習活動の重点化の観点から単元ごとの配当時間数、主な学習活動などをご提案するものです。

月	時	課	題材・ねらい	主な言語材料	評価規準	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 (色分けされている箇所は教科書のページと同色)
			□単元の目標	基本文(抜粋)	[評価の方法]	
4	0	(1)	<b>Classroom English</b> (p.6) <b>英語を使ってみよう</b> □授業で用いられる英語表現を用いてコミュニケーションを図る。	<b>文法事項</b> 命令文 Make pairs [group of four]. Read through the text silently., etc.	<b>表</b> : 伝えたい内容を正しく伝える。 [活動の観察]	本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆classroom English の文とイラストを見てやり取りの内容を理解する。必要に応じて辞書を用いる。【今後の授業でこれらの表現を使用する】 ◆「辞書を使いこなそう」では、日本語の説明を読んで理解する。 ◆辞書を用いて「やってみよう」の1 と 2 を調べる。 (1時間)
			<b>辞書を使いこなそう</b> (p.7) □辞書を用いて英語についての知識を身につける。	<b>語句・表現</b> 句動詞 Yuri will <b>get over</b> her illness soon.	<b>関</b> : 辞書を積極的に活用しようとしている。 [活動の観察] <b>理</b> : 句動詞を用いた表現を理解し、短い文章を正しく読みとる。 [記述分析]	
6	1		<b>A History of Vegetables</b> (pp.8-13) ジャガイモやキュウリの歴史についての話。 ①されたことを説明する。 ②完了したことを報告する。 ③完了したかをたずねる。 □受け身(過去)の表現を正しく身につけ、運用する。 □「完了」を表す現在完了の用法を正しく身につけ、運用する。	<b>文法事項</b> ①受け身(過去) Where <b>was it taken</b> ? It <b>was taken</b> in Hokkaido. ②現在完了(完了/肯定) I've <b>already learned</b> a lot about it. ③現在完了(完了/疑問・否定) <b>Have you finished</b> your homework yet? Yes, I <b>have</b> . / I <b>haven't finished</b> mine yet.	<b>関</b> : 積極的に表現しようとしたか。 [活動の観察] <b>表・知</b> : 正しく表現できたか。 [記述分析] <b>関</b> : 積極的にスキットの役を演じようとしている。 [PT] <b>表・知</b> : 現在完了の用法を正しく理解し、表現できている。 [記述分析]	※授業で行う必要がある。

(4)	0	PU	L&S 旅行(機内で) (pp.14-15)	語句・表現	関：積極的に役割を演じようとしている。 [PT]	本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆New Words を参考にアナウンスの概要を把握する。【本文訳が必要】 ◆1 は、音声教材があれば聞いて、ない場合は本文を読んで答えを書く。【本文リスニング原稿(指導書解説編にあり)が必要】【解答が必要】 ◆2 は、例を参考にペアの対話を書く。 ◆3 は、本文を参考にして書く。 ●英文はノートや用紙などに書き、先生に提出する。  (2時間)
	(2)	1	飛行機内での対話。  □飛行機内で用いる定型表現を正しく身につけ、運用する。	飛行機内での定型表現 Ladies and gentleman. / be about to ~ / take off / between ~ and ... / be sure to ~ / from now on	表・理：質問に対して、適切に応答する。 [活動の観察]	
5	6	2	Volcanoes in Japan (pp.16-21) 名所や史跡についての紹介。 ①継続していることを伝える。 ②経験したことを報告する。 ③調べたことを発表する。(復習)  □「継続」「経験」を表す現在完了の用法を正しく身につけ、運用する。	文法事項 ①現在完了(継続) We've been friends since last year. ②現在完了(経験) I've visited that city three times. I've never been to Kyoto.	関：積極的に趣味について対話しようとしている。 [活動の観察] 表・知：自分の趣味について、続けている期間を正しく伝える。 [(後日)筆記テスト] 表・知：観光名所で経験したことについて正しく書く。 [記述分析]	※授業で行う必要がある。
	0	(1)	英語のしくみ ① (pp.22-23)  □現在完了について復習する。	文法事項 現在完了(完了・継続・経験)  音声 イントネーション、音声、区切り	表・理・知：質問に正しく答えている。 [記述分析・(後日)筆記テスト]	本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆ここまでのProgram の学習内容やBasic Dialog の説明を参考に、学んだことを振り返り、要点を学習する。 ◆練習問題に取り組む。【解答が必要】 ◆「発音クリニック」は、日本語の説明を読んで自分で発音してみる。登校した際、先生に読み方を確認する。  (1時間)

6	6	<p><b>3 The 5 Rs to Save the Earth</b> (pp.24-29)</p> <p>身の回りの環境問題について考える。</p> <p>①特定の動作に対する自分の感じ方を伝える。</p> <p>②何かの仕方を知っているかを伝える。</p> <p>③他者に行動を依頼する。</p> <hr/> <p>□It is ~ (for + 人) to ... / know how to ~ / ask ~ to ...の用法を正しく身につけ、運用する。</p>	<p><u>文法事項</u></p> <p>①It is ~ (for + 人) to ...</p> <p><b>It's hard for me to get up</b> so early.</p> <p>②know how to ~</p> <p>I don't <b>know how to play</b> it.</p> <p>③ask ~ to ...</p> <p>Could you <b>ask him to call</b> me back?</p>	<p><b>関</b>: 積極的に対話しようとしている。 [活動の観察]</p> <p><b>表・知</b>: 友だちの得意なこと, 苦手なこと, 楽しいことを正しく英語で書く。 [記述分析]</p> <p><b>表・知</b>: 正しく英語で書くことができる。</p> <p><b>表</b>: 5文書くことができる。</p> <p><b>表</b>: 適切な声量で発表できる。 [記述分析]</p> <p><b>理</b>: 指示の英文を読んで理解し, 指示どおりに正しく動作することができる。 [活動の観察]</p>	<p>※授業で行う必要がある。</p>
0	PU (2) 2	<p><b>S 道案内②(電車の乗りかえ)</b> (pp.30-31)</p> <p>電車の乗りかえ案内</p> <hr/> <p>□電車で目的地までの行き方をたずねたり伝えたりする表現を正しく身につけ、運用する。</p>	<p><u>語句・表現</u></p> <p>目的地までの行き方をたずねる表現</p> <p><b>Could you tell me how to get to</b> Fukuoka Airport?</p> <p>get to ~</p>	<p><b>表</b>: 目的地までの行き方を正しく伝える。 [(後日)PT]</p>	<p>本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆New Words を参考に本文の概要を把握する。【本文訳が必要】</li> <li>◆1 は, 音読練習に替える。音声教材があれば聞いて音読する。音声教材がない場合は, 登校した際, 先生に読み方を確認し音読する。</li> <li>◆2 は, 例を参考にペアの対話を書く。</li> <li>◆3 は, Expression Box の表現を利用し, 2 で書いたやりとりよりも長い対話を考えて書く。</li> <li>●英文はノートや用紙などに書き, 先生に提出する。</li> </ul> <p>(2時間)</p>
0		<p><b>英語のしくみ ②</b> (pp.32-33)</p>	<p><u>文法事項</u></p>	<p><b>表・理・知</b>: 質問に正しく答えてい</p>	<p>本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容</p>

(1)		<input type="checkbox"/> 不定詞を含んだ表現などの文構造について復習する。	It is ~ (for + 人) to ... / how to ~ / ask [tell / want] ~ (人) to ... <u>音声</u> イントネーション, 音声, 区切り	る。[記述分析・(後日)筆記テスト]	は以下のとおり。 ◆ここまでのProgram の学習内容やBasic Dialog の説明を参考に、学んだことを振り返り、要点を学習する。 ◆練習問題に取り組む。【解答が必要】 ◆「発音クリニック」は、日本語の説明を読んで自分で音読してみる。登校した際、先生に読み方を確認する。 (1時間)
7	4 MP	<b>あの人にインタビューしよう</b> 7 (pp.34-37) インタビュー活動 <input type="checkbox"/> 相手を想定して質問内容を考え、既習事項を用いて原稿を作成し、インタビューを行ったり、応答したりする。	<u>文法事項</u> ①現在完了 You <b>have taken</b> part in the Paralympic Games three times, right? ②疑問詞 When was your first Paralympics? <u>語句・表現</u> Today we have ~ with us. ~, right? Thank you for talking with us.	<b>理</b> : インタビューの要旨を正しく読みとる。 [記述分析] <b>理</b> : インタビューの概要を正しく聞きとる。 [記述分析] <b>関</b> : 積極的にスキットの役を演じようとしている。 [PT] <b>表・知</b> : 質問内容を整理して、スキットを作成する。 [記述分析]	※授業で行う必要がある。
0 (5)	4	<b>Faithful Elephants</b> (pp.38-43) 戦争中の上野動物園のゾウの物語。 <input type="checkbox"/> まとまりのある英文を読んで、内容を理解する。	<u>語句・表現</u> little by little / get worse / get away / such as ~ / so ~ that ... / too ~ for ~ to ... / go through ~ / no longer ~ / continue ~ing	<b>理</b> : 物語の概要やあらすじを正しく理解している。 [(後日)筆記テスト] <b>表・理</b> : 読んだことについて要点を整理して英語で書く。 [記述分析] <b>表</b> : 読んだことについて感想を英語で書く。 [記述分析]	◆適宜わからない語句の意味を調べ、本文の概要を把握しながら、本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。【本文訳が必要】 (5時間)
0 (2)	PU 3	<b>W お祝い・お礼メール</b> (pp.44-45) お祝いやお礼を伝えるメールを書く <input type="checkbox"/> まとまりのある英文を読んで、内容を理解する。 <input type="checkbox"/> まとまりのある英文を書く。	<u>語句・表現</u> メールの書き方 Good luck! in the end I'm sure (that) ~.	<b>理</b> : 読んだことについて正しく理解している。 [記述分析] <b>表・知</b> : 自分の気持ちが正しく伝わるように、そして、全体の構成がバランスよくなるように英文を書く。 [記述分析・(後日)筆記テスト]	本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆New Words を参考に本文の概要を把握する。【本文訳が必要】 ◆1 は、音読練習に替える。音声教材があれば聞いて音読する。音声教材がない場合は、登校した際、先生に読み方を確認し音読する。

					<p>◆2 は、本文やExpression Box の表現を参考にして書く。</p> <p>◆3 は、2で整理した内容をもとに、本文やExpression Box の表現を参考にして書く。</p> <p>◆4 は、本文やExpression Box の表現を参考にしてメールに対するお礼の返事を書く。</p> <p>●英文はノートや用紙などに書き、先生に提出する。</p> <p>(2時間)</p>	
9	6	5	<p><b>Sushi-Go-Around in the World</b> (pp.46-51)</p> <p>回転ずしの歴史と日本食の広がり。</p> <p>①呼称を説明する。</p> <p>②「～を…にする」と伝える。</p> <p>③「いつ～が…か覚えている」と伝える。</p> <hr/> <p>□&lt;主語+動詞+目的語+補語&gt;で表される表現や間接疑問の用法を正しく身につけ、運用する。</p>	<p><b>文法事項</b></p> <p>①&lt;主語+動詞+目的語+補語&gt;(call A+B)</p> <p>We usually <b>call her Alex.</b></p> <p>②&lt;主語+動詞+目的語+補語&gt;(make A+B)</p> <p>His songs always <b>make me happy.</b></p> <p>③間接疑問</p> <p>I don't remember <b>when it starts.</b></p>	<p><b>表</b>：理由を明確にして、考えたニックネームを正しく相手に伝える。 [(後日)筆記テスト]</p> <p><b>関</b>：自分の気持ちを積極的に表現しようとする。</p> <p><b>表・知</b>：自分の気持ちを正しく表現できる。 [記述分析]</p> <p><b>理</b>：間接疑問などの英文を正しく理解できる。 [(後日)筆記テスト]</p>	<p>※授業で行う必要がある。</p>
0	PU (2)	4	<p><b>S 電話②(伝言を受ける)</b> (pp.52-53)</p> <p>電話での対話</p> <hr/> <p>□電話で用いる定型表現を正しく身につけ、運用する。</p>	<p><b>語句・表現</b></p> <p>伝言メモの書き方</p> <p>leave a message</p>	<p><b>理</b>：相手を見ずに、相手の話す情報をしっかりと聞きとる。 [PT]</p> <p><b>表・理</b>：要点を整理し、正しく伝言メモを書く。 [記述分析]</p>	<p>本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。</p> <p>◆New Words を参考に本文の概要を把握する。【本文訳が必要】</p> <p>◆1 は、音読練習に替える。音声教材があれば聞いて音読する。音声教材がない場合は、登校した際、先生に読み方を確認し音読する。</p> <p>◆2 は、答えを書く。【解答が必要】</p> <p>◆3 は、本文やExpression Box の表現を参考にして対話を書く。</p> <p>●英文はノートや用紙などに書き、先生に提出する。</p> <p>(2時間)</p>

(9)	6	6	<b>Let's Talk about Japanese Things</b> (pp.54-59) 日本の伝統文化についての報告。 ①～している…と描写する。 ②～された…と説明する。 ③日本の文化を紹介する。(復習)	<b>文法事項</b> ①現在分詞の後置修飾 I mean <i>the man reading a newspaper</i> . ②過去分詞の後置修飾 That's <i>the temple built by Ashikaga Yoshimitsu in 1397</i> .	<b>表</b> :スピーチの内容が伝わるように暗唱する。 [PT] <b>理</b> :英文を聞いて、内容を正しく理解している。 [活動の観察] <b>表・知</b> :日本文化を正しく説明する文を書く。 [記述分析]	※授業で行う必要がある。
	10		<input type="checkbox"/> 後置修飾の用法を正しく身につけ、運用する。			
	0 (1)		<b>英語のしくみ ③</b> (pp.60-61) <input type="checkbox"/> 分詞の後置修飾などの文構造について復習する。	<b>文法事項</b> <主語+動詞+目的語+補語>/ 間接疑問/分詞の後置修飾 <b>音声</b> 基本的な強勢	<b>表・理・知</b> :質問に正しく答えている。[記述分析・(後日)筆記テスト]	本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆ここまでのProgramの学習内容やBasic Dialogの説明を参考に、学んだことを振り返り、要点を学習する。 ◆練習問題に取り組む。【解答が必要】 ◆「発音クリニック」は、日本語の説明を読んで自分で音読してみる。登校した際、先生に読み方を確認する。 (1時間)
	4	MP 8	<b>日本文化を紹介しよう</b> (pp.62-65) 日本の伝統行事や文化についてのスピーチ。 <input type="checkbox"/> 既習事項を用いて原稿を作成し、身の回りのものや日本の文化について正しく説明する。	<b>文法事項</b> ①現在分詞・過去分詞の後置修飾 Halloween is a special day <b>celebrated on October 31</b> . ②<主語+動詞+目的語+補語> We <b>call</b> the day <i>setsubun</i> . <b>語句・表現</b> be based on ~ at the same time	<b>理</b> :スピーチの概要を正しく読みとる。 [記述分析] <b>関</b> :積極的に他者に伝えようとしている。 [活動の観察] <b>表・知</b> :文章構成を考えてスピーチ原稿を書く。 [記述分析] <b>表</b> :内容が正しく伝わるように発表する。 [PT]	※授業で行う必要がある。

(10)	6	7	<b>What Is the Most Important Thing to You?</b> (pp.66-71) 山本敏晴さんのボランティア報告。 ①人について説明する。 ②ものや事がらについて説明する。 ③人やもの、事がらについて説明する。 <hr/> <input type="checkbox"/> 関係代名詞(主格)の表現を正しく身につけ、運用する。	<b>文法事項</b> ①関係代名詞(主格) who <i>The girl <b>who</b> has just walked away.</i> ②関係代名詞(主格) which <i>I want <i>the cake</i> <b>which</b> has chocolate on it.</i> ③関係代名詞(主格) that <i>I know <i>a shop</i> <b>that</b> sells nice greeting cards.</i>	<b>表</b> : 人物について正しく伝える。 [(後日)筆記テスト] <b>関</b> : 積極的に特徴を表現しようとしている。 [活動の観察] <b>表</b> : ものの特徴を正しく伝える。 [記述分析]	※授業で行う必要がある。
	11	0 (1)	PU <b>L アナウンス(駅, 空港など)</b> (pp.72-73) 駅や空港でのアナウンス <hr/> <input type="checkbox"/> まとまりのある英文を聞いて, 概要を理解する。	<b>音声</b> イントネーション, 音声, 区切り	<b>理</b> : アナウンスの要旨を正しく聞きとる。 [記述分析]	本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆1～5は、New Wordsを参考に音声教材があれば聞いて、ない場合は本文を読んで答えを書く。【本文リスニング原稿(指導書解説編にあり)が必要】 【解答が必要】 ◆「発音クリニック」は、日本語の説明を読んで自分で音読してみる。登校した際、先生に読み方を確認する。 (1時間)
	6	8	<b>Clean Energy Sources</b> (pp.74-79) 自然エネルギーについての発表。 ①ものや事がらについて説明する。 ②人やもの、事がらについて説明する。 ③人やもの、事がらについて説明する。(関係代名詞の省略)。 <hr/> <input type="checkbox"/> 関係代名詞(目的格)の表現を正しく身につけ、運用する。	<b>文法事項</b> ①関係代名詞(目的格) which <i>It's <i>some money</i> <b>which</b> a child gets as a New Year present.</i> ②関係代名詞(目的格) that <i>Have you ever tried <i>the cake</i> <b>that</b> my father makes?</i> ③関係代名詞(目的格) 省略 <i>I'll show you <i>some pictures</i> <b>he</b> took.</i> <i><i>The baby</i> <b>you're looking at</b> is my mother!</i>	<b>表</b> : 宝物について説明する文を正しく書く。 [(後日)筆記テスト] <b>関</b> : 製品情報を積極的に表現しようとしている。 [活動の観察] <b>表・知</b> : 関係代名詞を用いてセールスポイントを正しく書く。 [記述分析]	※授業で行う必要がある。
	0 (3)	PU 6	<b>W ホームページで学校紹介</b> (pp.80-81)	<b>語句・表現</b> 学校行事や部活動に関連する語句	<b>理</b> : モデルを読み、内容を正しく理解している。 [発問応答]	

		<p>ホームページの学校紹介文</p> <p><input type="checkbox"/>まとまりのある英文を読んで、内容を理解する。</p> <p><input type="checkbox"/>まとまりのある英文を書いて、伝えたいことを表現する。</p>	<p>chorus contest, school festival, starting player, brass band, several times</p>	<p><b>表・知</b>：紹介文を正しく書く。 [記述分析]</p>	<p>本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。</p> <p>◆New Words を参考に本文の概要を把握する。【本文訳が必要】</p> <p>◆1 は、本文を読んで答えを考える。【解答が必要】</p> <p>◆2 は、本文を再度読んで答えを考える。【解答が必要】</p> <p>◆3 は、各自で学校行事や部活動紹介をするテーマをひとつ決め、本文やWord Box の表現を参考にして書く。</p> <p>●英文はノートや用紙などに書き、先生に提出する。</p> <p>(3時間)</p>
12	0 (1)	<p><b>英語のしくみ ④</b> (pp.82-83)</p> <p><input type="checkbox"/>関係代名詞の文構造について復習する。</p>	<p><b>文法事項</b> 関係代名詞(主格・目的格・省略)</p> <p><b>音声</b> イントネーション, 音声, 区切り</p>	<p><b>表・理・知</b>：質問に正しく答えている。[記述分析・(後日)筆記テスト]</p>	<p>本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。</p> <p>◆ここまでのProgram の学習内容やBasic Dialog の説明を参考に、学んだことを振り返り、要点を学習する。</p> <p>◆練習問題に取り組む。【解答が必要】</p> <p>◆「発音クリニック」は、日本語の説明を読んで自分で音読してみる。登校した際、先生に読み方を確認する。</p> <p>(1時間)</p>
	0 (5)	<p><b>Education First: Malala's Story</b> (pp.84-89)</p> <p>パキスタンの少女, マララさんについてのストーリー。</p> <p><input type="checkbox"/>まとまりのある英文を読んで、内容を理解する。</p>	<p><b>語句・表現</b> give a speech / speak for ~ / nobody but ~ / ~ enough to ... / under the name of ~ / be allowed to ~/ enjoy themselves / in addition / in order to ~ / be moved / believe in ~</p>	<p><b>理</b>：物語の概要やあらすじを正しく理解している。 [記述分析]</p> <p><b>関</b>：読んだことについて、感想をある程度まとまった量の英文を意欲的に書こうとしている。</p> <p><b>表・知</b>：正しい英文を書くことができる。 [記述分析]</p>	<p>◆適宜わからない語句の意味を調べ、本文の概要を把握しながら、本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。【本文訳が必要】</p> <p>(5時間)</p>
1	0 (2)	<p><b>PU L 有名人の名言</b> (pp.90-91)</p> <p>7 有名人についての説明</p> <p><input type="checkbox"/>まとまりのある英文を聞いて、概要を理解する。</p>	<p><b>音声</b> イントネーション, 音声, 区切り</p>	<p><b>理</b>：説明文の要旨を正しく聞きとる。 [記述分析]</p>	<p>本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。</p> <p>◆1 ~ 4 は、New Words を参考に音声教材があれば聞いて、ない場合は本文を読んで答えを書く。【本文リスニング原稿(指導書解説編にあり)が必要】 【解答が必要】</p> <p>◆5, 6 は、名言の内容を正確に理解してから繰り返し読み、暗</p>

					唱する。【本文訳が必要】 ◆「発音クリニック」は、日本語の説明を読んで自分で音読してみる。登校した際、先生に読み方を確認する。 (2時間)
(1)	6	SP <b>卒業に向けて一思いを伝えよう</b> (pp.92-96) 卒業に向けてのメッセージをスピーチにする。 □既習事項を用いて自分自身の考えや夢, お世話になった人へのメッセージ, 中学校の思い出, 将来の自分への手紙などを書く。	<u>語句・表現</u> continue to ~ / do my best / make my dream come true / think ahead / most of all / grow up	<b>関</b> : 意欲的に英文を書こうとしている。 [記述分析] <b>関・理</b> : 他の生徒の英文を積極的に読む。 <b>表</b> : 全体の構成を考えてスピーチ原稿に手を加える。 <b>表・知</b> : 正しい英文を書く。 <b>関</b> : 自分の考えや気持ちを積極的に他者に伝えようとしている。 <b>表・理</b> : 内容を正しく理解し感想を述べる。 [活動の観察] [記述分析][PT]	※授業で行う必要がある。
2	付録	<b>Extensive Reading</b> 1. After Twenty Years 2. Mother Teresa 3. The Hat □まとまりのある英文を読んで, 内容を理解する。	<u>語句・表現</u> 1. walk along ~ / walk up to ~ / strike a match / go on ~ing / come around / go away / come from across ~ / do well / have a talk / change ~ into ... / under arrest / bring ~ in 2. make up her mind / gather together / beg for ~ / sit ~ down / drop out of ~ / depend on ~ 3. far below / take off ~ / out of ~ / at the feet of ~ / all through the night / get off ~ / be in trouble / provide ~ with ... /		◆付録の読み物教材は, 授業や家庭学習で扱わないが, 希望する生徒には個別に発音や本文訳の配布などの対応をする。

			do business with ~ / as usual / stare at ~ / grab at ~ / back and forth / go white / go fine / give ~ back to ...		
計	56/85				(29/85 時間)